MIRAREED

Printed in China 2014/03

[TV アンテナ取付説明書]

このたびは弊社商品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

- 取り付けと配線を行う前に、この「取付説明書」をよくお読みのうえ安全に正しく作業してください。
- 本説明書は、取扱説明書とともに大切に保管してください。

お客様へ	本機の取り付けと配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをおすすめします。
販売店様へ	取り付け完了後、この「取付説明書」をお客様にお渡しください。

ご購入年月日	ご購入店名
年 月 日	TEL
(メモ)	

安全上のご注意

本取付説明書では、ご本人や周囲の人々が危害損害を追うことなく、本機を安全に正しく取り付け、配線をしていただくために、いろいろな注意事項を表示しています。本取付説明書をよくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

■ 注意事項は、それを守らなかった場合に起こりうる危害や損害の程度によって 2 つに区分けしています。

警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
注意	「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

■ 注意内容の性質を絵表示で示しています。

(△)	注意を促す内容です。
(⊘)	してはいけない内容です。
(!)	必ずしていただきたい内容です。

お取り付けの前に

警 告

- **フィルムアンテナは、フロントウィンドウ以外の場所には貼り付けない**
  フィルムアンテナは、フロントウィンドウ専用です。リアウィンドウなど、ガラスにプリントされている熱線、AM、FM、アンテナの上に本アンテナを貼り付けると熱線が切れたりガラスが割れたりする恐れがあります。
- **分解改造をしない**
  分解、改造、コードの被覆を切って接続することは絶対におやめください。事故、火災、感電、故障の原因となります。
- **エアバック装着車に取り付ける場合は、システムの作動に影響する位置には絶対に取り付けや配線をしない**
  エアバックが正常に動作しなかったり、動作したエアバックで本機や部品が飛ばされ死亡事故の原因となります。

警 告

- **コード類は、運転操作の妨げとならないように引き回し、まとめておく**
  ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。
- **取付説明書にしたがって、取り付けや配線をする**
  火災や事故の原因となることがあります。
- **フィルムアンテナは、貼付許容範囲内に貼り付ける**
  保安基準に適合するように、規定にしたがって貼り付けてください。
  視界不良による交通事故の原因となります。

注 意

- **アンテナ取り付け後 24 時間以内は絶対に水気(水、雨、霧、雪など)にあてたり、無理な力を加えない。**
  両面テープの接着力が低下し、外れて事故や怪我の原因となることがあります。

- **コード類は、車体やねじ部分、シートレールなどの可動部に挟み込まないように引き回す。**
  断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- **必ず、付属品や指定の部品を使用する**
  指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして、事故や故障の原因となることがあります。
- **取り付け(取り外し)や配線は、専門技術者に依頼する**
  火災や事故の原因となります。お買い求めの販売店に依頼してください。
- **アンテナおよびケーブル類は確実に固定する**
  外れて事故や怪我の原因となることがあります。
- **気温が低いときは、接着力の低下を防ぐため、車内ヒーターやデフロスタースイッチを ON にするなどして、フロントウィンドウを温める**
  両面テープの接着力が低下し、外れて事故や怪我の原因となることがあります。
- **貼り付ける前に、クリーナー等でフロントウィンドウの汚れを十分に落とす**
  汚れていると、アンテナがガラス面に貼り付かなくなります。

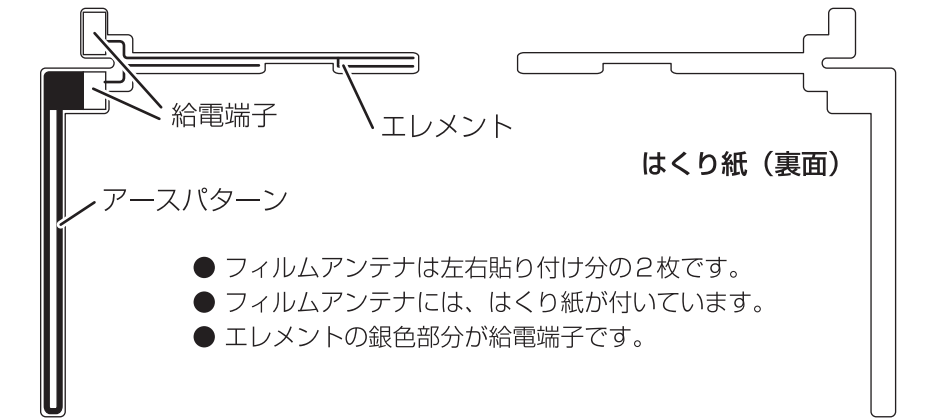
- **天気の良い日中に取り付ける**
  雨、霧など湿気が多いときは、両面テープの接着力が低下し、外れて事故や怪我の原因となることがあります。
- **コードホルダーの両面テープは、指でさわったり貼り直したりすると、接着力が弱まるので、取扱いには注意してください**
  両面テープの接着力が低下し、外れて事故や怪我の原因となることがあります。
- **アンテナ貼付直後は、アンテナにガラスクリーナーなどを吹きつけたり、アンテナを直接拭いたりしないでください。また、時間経過後にアンテナを直接拭く際は、やわらかい布などを使用して傷が付かないに注意してください。**
- **お手入れの際は、アンテナケーブル、フィルムアンテナをひっかけないようにご注意ください。**

取付上のご注意

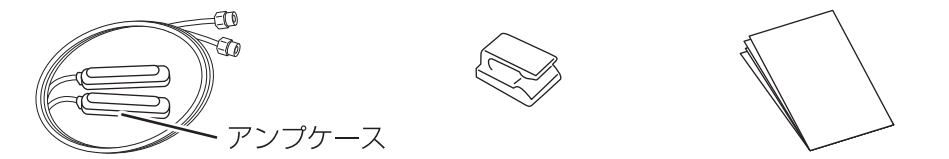
- 車種によって、取り付けられない場合があります。
  熱線反射ガラス、断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合には、受信感度が極端に低下します。最寄りのディーラーにお問い合わせください。
- 車種によっては、フロントピラーやサンバイザーを取り外すと作業が容易に行える場合があります。なお、フロントピラーにエアバックが装着されている車両は、フロントピラーを取り外さないでください。
- フロントウィンドウの指定位置・寸法内に貼り付けてください。
  ・フィルムアンテナは**フロントウィンドウ専用**です。それ以外の場所(リアウィンドウなど)には貼り付けないでください。
  ・保安基準 * に適合させるために、本書の「貼付許容範囲」をよくご覧になり、正しく貼り付けてください。貼付許容範囲をはみ出して貼り付けた場合、車検不適合と判断されたり、整備不良の対象となります。
  * 保安基準とは、道路運送車両の保安基準第 29 条第 4 項第 6 号に対する、平成 15 年 9 月 26 日付の運輸省(現、国土交通省)令第 95 号をいいます。
- アンテナを接続する機器の取付説明書も併せてご覧ください。

アンテナ構成部品

① フィルムアンテナ(2 枚 / 左右対称)

- フィルムアンテナは左右貼り付け分の 2 枚です。
- フィルムアンテナには、はくり紙が付いています。
- エレメントの銀色部分が給電端子です。

② アンテナケーブル(5m)

③ コードホルダー

④ 取付説明書(本書)

貼り付ける前に

フロントウィンドウの汚れを落とす

フロントウィンドウ(内側)のフィルムアンテナを貼り付ける場所を、きれいな布などで拭いて、十分に汚れを落として乾かしてください。

・貼付面が完全に乾いていない状態では貼り付かないことがあります。フィルムアンテナ・アンプケースを貼り付けるガラス面は十分に乾いた状態にしてから作業を行ってください。
・フィルムアンテナ・アンプケースを貼り付ける面が油分等で汚れていると、貼り付けできません。また、冬場など気温の低いときは、デフロスター・ドライヤー等でガラス面を温めてから作業を開始してください。またフィルムアンテナ・アンプケース自体も温めてください。

貼付位置について

- 運転に安全な視野を確保し、性能を十分に発揮させるために、TV アンテナは必ず「貼付許容範囲」内に貼り付けてください。許容範囲外に貼り付けると道路運送車両の保安基準に適合せず、車検不適合と判断されたり、整備不良の対象となります。
- 左ハンドル車に貼り付ける場合も、右ハンドル車と同様に貼り付けてください。(左右逆に貼り付けないでください。)
- アンテナは、フロントウィンドウの車内側に貼り付けてください。それ以外の場所には貼り付けないでください。
- アンテナは、車検証・点検シールなどと重ならないように貼り付けてください。
- アンテナは、ETC 受光部、他の TV アンテナなどから 20mm 以上離して貼り付けてください。
- **フィルムアンテナの給電端子部およびアンプ部は、セラミックライン内に貼り付けないでください。ショートなど、故障の原因となります。**

貼付許容範囲

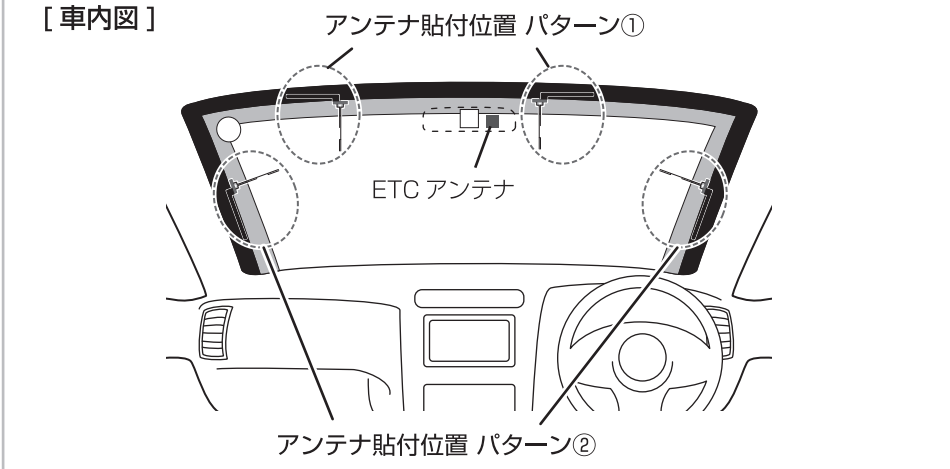
- フィルムアンテナの給電端子部およびアンプ部は、セラミックライン上または内張りに重ならないように必ず貼付許容内に貼り付けてください。
- アースパターンは、セラミックライン上に貼り付けても問題ありません。
- 貼付許容範囲をはみ出して貼り付けた場合、車検不適合と判断されたり、整備不良の対象となります。

※ セラミックイン:フロントウィンドウ端の黒い部分、および黒いドット(点々)部分

注 意

・ETC アンテナや他の TV アンテナなどから 20mm 以上離して取り付けてください。
・点検シールや検査標章に重ねて貼り付けないでください。

[車内図]

ルーフ(天面)の内張り
セラミックライン
25mm 以内
貼付許容範囲
フィルムアンテナ
フロントピラー側
セラミックライン
給電端子
エレメント
給電端子
アンプケース
25mm 以内

貼付手順

1 フィルムアンテナ・アンプケースの貼付位置を決める

1. フィルムアンテナ・アンプケースの貼付位置は、上図の「貼付許容範囲」を参照して位置を決めてください。
2. マスキングテープなどでフィルムアンテナとアンプケースを仮固定し、車内の内張り(フロントピラーなど)に当たらないことを確認してください。
3. ケーブルを引き回して機器まで配線可能なことを確認してください。

 注意 フィルムアンテナを折り曲げないように、取り扱いに注意してください。

2 フィルムアンテナを貼り付ける

1. 裏面のはくり紙をはがし、決めた位置に貼り付けてください。
2. フィルムアンテナ全体をなぞるように、やわらかい布などを使って、ガラス面に密着させてください。
   エレメントを傷つけないように十分注意して作業を行ってください。

フィルムアンテナ(裏面)

注意
・フィルムアンテナの貼り直しは、粘着力が弱くなるため、また、アンテナ自体が破損する恐れがあるためおやめください。
・本フィルムは、乾燥貼付タイプですので、霧吹きなどでの吹きつけによる貼り付けはしないでください。

3 アンプケースをフィルムアンテナに貼り付ける

1. アンプケースの裏面のはくり紙をはがします。

はくり紙
アンプケース裏面

 注意
・アンプケースの貼り直しは、粘着力が弱くなるため、また、アンテナ自体が破損する恐れがあるためおやめください。
・貼り付ける前に、配線のしやすいアンプケースの向きに注意してください。

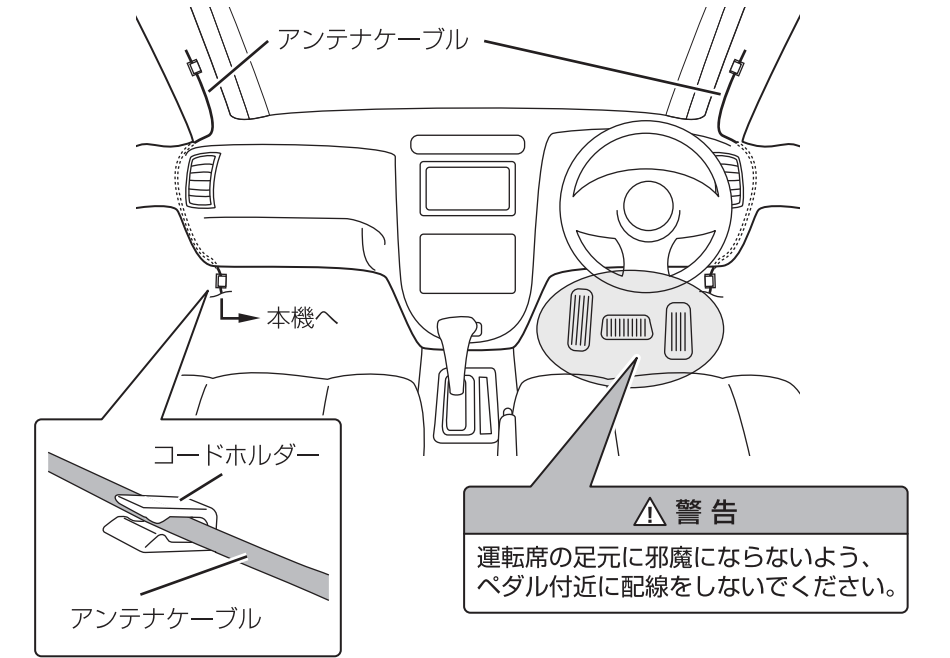
2. アンプケースの給電端子と、フィルムアンテナの給電端子をしっかりと接触させて貼り付けます。

注意 アンプケースとフィルムアンテナのそれぞれの給電端子には手を触れないでください。汗や指油などの汚れで接触不良の原因となります。

4 アンテナケーブルを固定する

アンテナケーブルをコードホルダーで固定しながら配線してください。

・アンプ部に負荷がかからないように、アンプケースを押さえながら作業を行ってください。
・コードホルダーの裏面に両面テープが付いていますので、はくり紙をはがして貼り付けてください。

警 告
運転席の足元に邪魔にならないよう、ペダル付近に配線をしないでください。

5 アンテナ端子を接続する

アンテナ端子を機器のテレビアンテナ端子へ接続してください。

接続する機器の説明書もご確認のうえ、正しい位置に接続してください。

注意
・アンテナ貼付直後は、アンテナにガラスクリーナーなどを吹きつけたり、アンテナを直接拭いたりしないでください。また時間経過後にアンテナを直接拭くさときは、やわらかい布などを使用して、傷が付かないように注意してください。
・お手入れのときは、アンテナケーブル、フィルムアンテナをひっかけないように注意してください。